

令和二年度

国語

(文学科 日本語日本文学専攻)

9:30
～
11:00

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、問題冊子、解答用紙に手を触れてはいけません。
- 2 この問題冊子は8ページで、解答用紙は2枚あります。
- 3 試験開始の合図があつたら、まずページ数、枚数を確認し(足りない場合は、手を挙げて監督者に知らせること)、全部の解答用紙に受験番号を記入してください。
- 4 試験中に、印刷の不鮮明な箇所やページの脱落などに気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 解答は、解答用紙の所定の欄に記入してください。
- 6 この問題冊子にある余白のページは、下書きなどに利用してかまいません。
- 7 試験終了後、問題冊子と受験票は持ち帰ってください。

一

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

【省略】

【省略】

(キース・ヴィンセント)「日本的未成熟」の系譜 東浩紀編『日本的想像力の未来 クール・

『ジャパノロジーの可能性』二〇一〇年、日本放送出版協会、15～19ページより作成。）

注1 民主党政権 …… 二〇〇九年に当時の民主党を中心として成立した政権。

注2 バブル期 …… 日本で地価・株価が高騰した、一九八〇年代後半から九〇年代初頭にかけての時期。

注3 セーラーMoon …… 日本の漫画、アニメ作品である『美少女戦士セーラーMoon』のこと。

注4 カミュ …… アルベール・カミュ。フランスの小説家・批評家。

注5 柄谷行人 …… 日本の批評家。

問一 — 部①～⑩の片仮名は漢字に、漢字は平仮名に直しなさい。

問二 — 部ア～オの語句を、同じ意味となる別の言葉で言い換えなさい。

問三 — 部A「アメリカの子ども、ニッポン」というイメージ」とはどういうものか、わかりやすく説明しなさい。

問四 — 部B「オトナの動機」を持つ学生たちが勉強する対象は、いまや日本ではなくて中国なのです」とあるが、その理由をわかりやすく説明しなさい。

問五 — 部C「日本自体を愛している」という学生たちの言葉にどのような願望を著者は読み取っているか、本文の言葉を使ってわかりやすく説明しなさい。

問六 — 部D「強迫観念」とはどういう意味を示す言葉か、その説明となる本文の表現をさがし、二五字以内で書き抜きなさい。

問七 — 部Eについて、「アナザー・カントリー」と「プロミス・ランド」の対比を明確にしながら、わかりやすく説明しなさい。

問八 — 部F「そのような幻想から解き放ってあげること」がどのような意味を持つと筆者は考えているか、わかりやすく説明しなさい。

二

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

山高み人もすさめ **A** 桜花いたくなわびそ我見はやさむ

この歌の心 **注1** は、我を人見ずとて、花のわびたる様さまに詠めり。人なりとも、さはあるべき。まして、**A** 心もなからむ花の、人見ずとてわびむも、あいなくこそ聞きこゆれ。されど、これこそ、心なき物に心をつけ、物いはぬ物にもを言はするは、**B** 歌の常のならひなれば、風、花のあたりをよきて吹け **注2**、など言ひ、やよや待て山ほととぎすことづてむ **注3**、など言ふは、まさに、聞くべき事かは。されど、歌のならひなれば、これらにて、心を得るに、**C** などてか、花も人見ずとて恨みざらむ。

D 見る人もなき山里の花の色はなかなか風ぞ惜しむべらなる **注4**

もろもろの花は、風を恨みてのみこそあるに、これは、風の花を惜しみとめたるは、思ひかけ **イ** ぬ事なりや。まことに、風の惜しみとめたるにはあらず。ほかの花、みな散りはて **ウ** ぬるに、この山里の花のまださかりなるは、風の吹かざりけるなりと。風は吹けば、所をもさだめ **エ** ぬ物なるに、これにしも、風吹かざりけるは、風の惜しみけるなめりと、言へるなめり。これ、ひとつの姿なり。

(源俊頼『俊頼髓脳』より)

注1 歌の心 …… 歌の発想。

注2 風、花のあたりをよきて吹け …… 春風は花のあたりをよきて吹け心づからや移ろふと見む (『古今和歌集』春歌上 藤原好風) などの歌を念頭に置いている。

注3 やよや待て山ほととぎすことづてむ …… やよや待て山ほととぎすことづてむわれ世の中に住みわびぬとよ (『古今和歌集』夏歌 三国町) などの歌を念頭に置いている。

注4 べらなる …… くのようである。

問一 —— 部 **A**、**エ** の「ぬ」について、一つだけ文法的な性質が違うものがあります。違うものを記号で答え、品詞名を書きなさい。活用する品詞の場合は活用形を書き、助詞・助動詞の場合はその単語の意味用法を説明しなさい。

問二 —— 部 **A** 「心もなからむ花の、人見ずとてわびむも、あいなくこそ聞きこゆれ。」を現代日本語に訳しなさい。「あいなし」にはいくつかの意味があるが、ここでは「不調和である」とします。

問三 — 部 B 「歌の常のならひ」とはどういうことなのか、わかりやすく説明しなさい。

問四 — 部 C 「などてか、花も人見ずとて恨みざらむ。」を現代日本語に訳しなさい。

問五 — 部 D の歌に「なかなか風ぞ惜しむべらなる」とあるが、「風ぞ惜しむ」とは実際には何がどうすることなのか。□が□という形で答えなさい。現代日本語でかまいません。

問六 — 部 D の和歌を本文の記述をふまえて現代日本語に訳しなさい。

三 次の文章はモンゴル人が中国を統治した元代の状況をふまえています。これを読んで、後の問いに答えなさい。

翰林学士元文敏公明善、字復初、清河人。参議中書^ニ一日、会^ニ朝廷遣^タ蒙古大臣一員使交趾、公副^ス之。将^ニ還、国之偽主賚^ニ以^テ金。蒙古受^レ之、公固辞。偽主曰、「彼使臣已^レ受矣、公独何為。」公曰、「彼所以受者、安小国之心。我所以不受者、全大国之体。」偽主嘆服^ス。

(陶宗儀『輟耕録』より)

注 翰林学士元文敏公明善……元明善のこと。後に文敏公とも呼ばれた。中国北方の

清河の出身。翰林学士は朝廷の文書を起草する高官。

参議中書……中央省庁を統括する部署に参与する。

交趾……現在のベトナム北部に存在した国。元朝は交趾に対して不満を持っているので、その君主のことをここでは「偽主」と呼んでいる。

賚……下賜する。

問一 —— 部「已」「独」の送り仮名を含めた読みをそれぞれ記しなさい(現代仮名遣いでもよい)。

問二 —— 部Aを書き下し文にしなさい。なお、「遣」は「ツカハス」と「シム」の二通りの読み方が可能です。返り点の付け方は、「朝廷遣^ニ蒙古大臣一員使^ニ交趾」と「朝廷遣^ニ蒙古大臣一員使^ニ交趾」の二通りが可能です。解答にあたっては、この「遣」と返り点の組み合わせを一つ選んで書くこと。また、漢字を使わず、すべてひらがなで書くこと(現代仮名遣いでもよい)。

問三 —— 部Bは「彼の受くる所以の者は、小国の心を安んずればなり。我が受けざる所以の者は、大国の体を全くすればなり」と書き下します。これに従って、解答用紙の原文に

返り点を付けなさい（送り仮名は不要）。

問四

——部 **C** で偽主が嘆服した内容を二つ考えて、わかりやすく説明しなさい。このとき、その二つの内容がそれぞれ誰（または何）に対する配慮なのかを明確にすること。